

技術士だより

—(社)日本技術士会九州支部・九州地方技術士センター夏季号<第16号>(平成5年6月15日発行)

◇巻頭言

有明海に九州国際空港を

青山 次貝リ (副支部長・熊本・建設)

九州国際空港が、構想の段階から現実への姿を現わそうとしている。昨年の5月九州知事会と九州山口経済連合会は「九州国際空港必要性等の調査報告書」に基づき「九州に国際ハブ(拠点)空港が必要だ、と明確に結論づけています」、そして10月19日には九州国際空港検討委員会を開き、11月から約1年かけて国際空港の具体的な候補地を絞り込む調査をすることを決めた。

国際空港の考え方はさまざまだが、現在では「ハブ・アンド・スポーク」が主流である。自転車の車輪に見立て、ハブは中心の車軸(拠点)、ここから車輪の外周と結ぶスポーク(子空港)が放射状に延びている。つまり世界各地から航空機が乗り入れ、ここで降り、あるいは乗り継いで日本各地や外国へ飛ぶことをいう。韓国の金浦空港、シンガポールのチャンギ空港、オランダのスキポール空港などがこうした形態を取っている。時代の要請に合う国際空港の三つの条件は「十分なスペース」「24時間いつでも離着陸できる」「安全」である。それは、人々が国境を越え、いつでもスムーズに移動するための最低条件である。

九州国際空港をどこに建設するか。それは九州各県の総意によって決まることが望ましい。ただ空港建設に地域の利害が絡み合うことは避けられない。しかし最良の立地条件は、その場所が、コスト的に優れ、安全で、環境への配慮がなされ、なおかつ九州の一体的な発展につながることである。(社)日本技術士会プロジェクトチーム熊本技術センターは、88年設立当初より空港問題の調査研究に取り組み、「24時間開港型九州国際ハブ空港」の立地は有明海の大牟田・荒尾沖が最適、とする研究報告を92年6月公表した。報告書について読まれた会員も多いと思うが、九州の九地点をピックアップ。波高、突風など気象条件、水深、地質などの自然条件、土地の価格を含めた用地確保の難易度、建設コスト、交通アクセスなどの社会的条件を26項目に分け、詳しく分析した。その結果、福岡都市圏の経済界が候補の一つに挙げている「福岡県新宮沖」は外海のため、波高が15メートルもあり、水深は20~25メートル。風向きから滑走路を沖合に延ばさなくてはならず、空港建設費は3兆7千億円を要し、周辺整備費も高いコストになる。これに対して荒尾・大牟田沖は波高3メートルと低く、突風は弱い。水深は2~13メートル、表層地質は軟い粘土層5m程度と薄くその下に洪積砂礫層がある。又干拓による造成で広い用地の確保が容易であり、九州新幹線のルートの見直しで「国際空港駅」設置も可能である。九州の中心であるため各地へのアクセスが優れている。又2010年までに総面積約1千5百ヘクタールで、4千メートルと、3千メートルの2本の滑走路を持つ本格的国際空港が7千億円の工費で建設できる。福岡新宮沖の5分の1のコストである。何よりも九州全域からの潜在的な航空需要を引き出せる採算面でも大きな魅力があり、大牟田・荒尾沖の有明海に九州国際空港を建設することが最適であるという計画構想をまとめた。この構想はいまタマゴからヒナにかえたばかり。コストは他に比べて安いのが、膨大な建設費をどう調達するか。国にその必要性をどう認識させるか。立ち足かかる壁は厚く、高い。しかしそこに住む人々が、空港がもたらすものを理解し、話題に乗せたとき、実現に向けた第1歩が始まるのである。会員各位の忌憚のない意見をお願いしたい。

1人でも多くの入会をお勧め下さい

↓ 私の提言 まず 健康

今村 金一 (大分・代表幹事・農業)

我が国は、いまや世界一の長寿民族となり、平均寿命も男性が75歳強、女性が81歳強また世界中からねたまれる程の経済大国となり太平洋戦争の敗戦のショックから見事に立ち上がった日本国民は優秀な恵まれた民族と思われる。100歳以上のお年寄りは3,078人(平成元年発表)20年前のおよそ10倍に当り世界一の長寿国にふさわしい数字と言われている。この様な状態の中で素晴らしい技術士の先生方が早世されるのは誠に残念な極みである。近くは第一部長(機械部門)をされていた故田島積先生、昨年11月13日北九州市で実施された合同セミナーでは廃棄物処理技術の紹介と応用で「マルチアーク」技術を発表されその応用範囲の広さに驚嘆したものでした。先生とは数年前「志賀島」の研修会で長崎の芳賀先生と共に同室となり一晩話し合った間柄でそれ以後親交を続けていたが惜しまれてならない。もう一人素晴らしい頭脳を有しながら早世された先生に建設部門の故前原昭一郎先生がおられる。技術士受験対策講座でご奮闘され技術力の凄さと熱心さには圧倒される思いがした。著書も数多く発刊されその力量と努力には驚嘆すべきものがあつた。このご両人の頭脳があつたと少なくとも10年長寿であつたならまだまだ見事な成果を上げていたものと思われる。

最近よく健康雑誌で120歳まで元気で生きるために、という記事を見受けるが、スコッチウイスキーのオールドパーのラベルで知られているイギリスのトーマス・パーは、1483年に生まれ1635年に没し153歳であつたとか、長寿で有名になつたパーは、時の国王チャールズ一世から王室に招かれ山海の珍味をご馳走になりその1週間後に死亡、彼のその死因究明のため解剖の結果、脳・心臓・脾臓などには、まったく異常がみられなかつたという。彼がもし王室に招かれず山海の珍味を食べることがなかつたならまだまだ生きられたであらう

／ろうと考えられる、と史実として記載されている。

究極の健康法とは血管を大事にすること、と心理的な要因が大切であると言われる。心理的なものについてはアメリカのデューク大学老人研究所が発表した平均余命をどれだけ延ばすか、ということに役立っているファクターは三つあると記述している。

1番目 「自ら健康だと思っている」 医者の診断よりも何よりも、自分で健康だと思っている人が一番長生きしている。

2番目 男性にとっては仕事が楽しかつたということ、女性では家庭生活が楽しかつた、幸せな結婚だつたということ。

3番目 インテリジェンス、これは学歴とかそういうものではなく、生活の知恵 何を食べたら体にいいかということを生の中知知っている、そういうインテリジェンスを持っている人ほど長生きをしたという結果になっている。

要は、自分は健康だと思ひ、体にいいものを食べ、豊かな人間関係があることが健康長寿の秘訣である……と。

(心と体の健康を創る月刊誌サインズオブザタイムスより抜粋)

技術士会の研修会・忘年会等で立食パーティが行われ、お互いのギスギスした人間関係が徐々に円くなって来た感があるが、部会活動等で一泊二日程度の研修会を実施し、一晩ゆっくり話し合い、技術士仲間の豊かな人間関係を育てて行くことが、お互いの健康長寿につながり、又技術士会の活性化となるのではと思う今日この頃である。

(健康雑学事典参照)

日本技術士会近況

土居 貞夫 (技術士会理事)

◎臨時総会、第6回理事会

3月19日、午前10時東京都港区虎ノ門パストラル4F楼の間で、臨時総会が開催されました。議案は平成5年事業計画及び収支予算(案)について、執行部の提案理由説明、出席会員の討議があり、無事臨時総会が終わり、本部に於て平成4年度第六回理事会が引き続き開催されました。議題として先ず平成5年度会長表彰選考基準を審議、通算満10年以上在籍で本会の発展に顕著な貢献のあった会員で、支部・部会で会員数200人以下の会員で推薦を受ける人員は1名、200人以上400人以下2名以内、401人以上は3名以内とする、倫理委員会の提案を承認決定。続いて(社)日本技術士会の役員選挙制度見直しの為の委員会設置の提案を審議した。

1. 設置の目的—現行の役員選挙制度は制定されてから長期間改変を見ていないので、現行の会の実態に照らして総括的に見直しを行い、改善点があれば具体的内容を理事会に答申する。
2. 委員会の名称—役員選挙制度改正臨時委員会とする。
3. 委員会を所管する部門—政策委員会とする。
4. 委員会委員の構成—政策委員長または副

会長の現職または経験者1名、部会より推薦3名、支部より推薦2名、政策委員会より3名以内の計9名で、なお委員は現役員または役員経験者であり、上記各所属グループより推薦を受けた会員とする。

5. 委員会の設置—概ね期間1年とする。を審議決定した。これは新役員が出来て発足予定。

報告事項として、平成4年度地方公共団体職員と技術士との合同セミナーの開催が、3支部(九州・中四国・中部)3ヶ所で開催、科学技術庁及び各県の後援を得て行われた。参加者は九州97名、中・四国79名、中部81名でした。これは技術士会のPRと会員の活性化の為各支部継続的に開催することが望まれる。会員の状況について

会員数	
会員	4,403名
準会員A	83名
準会員B	736名
賛助会員	225名

平成5年2月末現在

(これは平成5年3月19日第6回理事会に於いての報告)

◎第3回支部長会議

平成5年3月4日大分県湯布院町

ゆふいん山水館(九州支部担当)

出席：会長、副会長、専務理事、各支部長 13名

議 題

- <北海道>
 1. 技術士会館の設立について
 2. 会員増強対策(企業内技術士について)
- <東北>
 1. 会員の協力を必要とする事業はその計画を迅速に会員に周知するように願いたい
- <北陸>
 1. 本部理事推薦支部役員選出等の方法を教示願いたい
 2. 支部での試験PRの方法について教示願いたい

3. 県支部設立の動向について支部長の考え方をお聞きしたい

- <中部>
 1. 業務斡旋について
- <近畿>
 1. 本部理事選出基準の見直し
 2. 本部よりの還付金の基準見直し

<中四国>

1. 技術士会館の設立について今日までの経緯調査計画概要についてお聞きしたい

- <九州>
 1. 技術士会館の設立について
 2. 次回支部長会議担当支部の決定について

(次ページにつづく)

議題審議結果要約

(1) 技術士会館の設立について

- 各支部とも青写真が出来ていないのに賛否の意見を求めるのは、時期尚早であり無理であるとの意見が大勢であった。
- 業務委員会で会館建設の準備委員会設立の可否を問うたわけですが、アンケート作成内容がまずかったことを反省している。3/9の業務委員会で検討のうえ再度アンケートをお願いし、5月末迄に結論を出したい。

(2) 本部理事、支部役員の選出選挙のあり方について

- 会長は全会員による選挙で選出すべきである。
- 本部理事について定員の1/2ずつの改

↑ 選をするようにしては又会員10名以上の推薦により立候補出来ることにしては等の提案があった。

- 専務理事より役員を選出方法については、特別委員会を設置して検討することになっている。2年後の改選を目処に検討を進める。支部長会議としても政策委員会へ提議するようにしてはとの示唆があった。

(3) 業務斡旋について

- 専務理事より技術士会本来の目的は技術士の業務開拓だけが本務ではない。独立技術士個々の業務開拓実施に伴うとりまの管理団体と解釈して欲しいとの発言があった。
- 先ずPRが先決であるため、PR用パンフレットを作成中であり、1部500円程度で割愛するよう検討中である。



第3回支部長会議 (大分県湯布院町ゆふいん山水館)

技術士会九州支部・九州地方技術士センター

行事・会合などの報告

◎第2回九州支部、九州地方技術士センター
合同役員会

日時 平成5年4月24日(土)13:00~16:00
場所 福岡商工会議所604号室
出席 九州支部定員29名 出席14名
委任状11名
九州地方技術士センター定員32名
出席15名 委任状9名

○審議事項

- (1)平成4年度会務及び事業報告
- (2)平成4年度収支決算及び監査報告
- (3)平成5年度事業計画(案)について
- (4)平成5年度収支決算(案)について
- (5)支部、センター役員の改選について
- (6)その他総会に提出する議案について ↗

↗○報告事項

行事予定

- (1)平成5年度第1回常任幹事会及び合同役員会

日時 平成5年6月26日(土)
11:00~16:00

場所 福岡商工会議所B1号室

- (2)中四国、九州支部合同研修会

日時 平成5年7月16日~17日

場所 せとうち苑集合

西部丘陵都市、新広島空港見学

- (3)第6回九州地方官公庁職員と技術士との合同セミナー(福岡地区)

日時 平成5年11月5日(金)

場所 福岡市博多区築港本町2~1
福岡サンパレス

◎平成5年度第28回定時総会

日時 平成5年5月29日(土)13:30~15:30
場所 福岡商工会議所604号室
出席 支部会員数 243名
出席会員数 51名
委任状会員数 116名
センター会員数 587名
出席会員数 70名
委任状会員数 330名

○審議事項

- (1)~(6)第2回合同役員会と同じに付省略す。

◎平成5年、平成6年度の役員名簿

◇(社)日本技術士会九州支部役員名簿

支部長 原井東男(建)
副支部長 水上信照(建) 青山次則(建)
幹事
福岡地区 ◎水上信照(建) 重富秀雄(経)
政野光男(建) 笠木直行(建)
川崎迪一(建) 江崎親教(金)
三原節夫(水)岡部九州男(農)
棚町修一(建)
北九州地区◎北原徳雄(化) 江畑賢一(応)↗



佐賀地区 ◎向井治孝(建)
長崎地区 ◎福岡辰義(建) 永濱伸也(応)
熊本地区 ◎青山次則(建) 林博昭(農)
大分地区 ◎今村欽一(農)児玉源一郎(建)
宮崎地区 ◎新城精一(建) 臼井土郎(建)
鹿児島地区◎上野光夫(建) 黒岩郁夫(農)

会計監事 山谷三郎(機) 完戸 鶴(農)

◇九州地方技術士センター役員名簿
理事

福岡地区 町田貞徳(電) 斎藤清美(衛)
是石俊文(建) 斎藤健雄(建)
前田剛志(建) 久保田信一(建)
小川康夫(建) 矢野友厚(建)
諸藤元信(建) 真鍋和義(水)
北九州地区 藤原良雄(機) 入江 太(建)
小松栄一(経)

佐賀地区 蒲生文夫(建) 藤永正弘(建)
長崎地区 芳賀三千億(経) 柏原公二郎(応)
熊本地区 洲田精三(建) 加来英器(建)
大分地区 川野宏平(農) 八鹿昭祝(建)
宮崎地区 井川 仁(建) 西田 靖(建)
鹿児島地区 稲田 博(建) 郡山匡良(農)

監事 田中正人(機) 平野道夫(建)

☞ 支部・センター委員会だより

◇ 婦・総務委員会(重富委員長)

- (1)第2回九州支部、九州地方技術士センター合同役員会
 日時 平成5年4月24日(土)
 13:00~16:00
 場所 福岡商工会議所604号
- (2)第28回九州支部、九州地方技術士センター定時総会及び懇親会
 日時 平成5年5月29日(土)
 13:00~19:00
 場所 福岡商工会議所604号
 (5ページ参照)

↗◇ センター・受験対策委員会 (町田委員長)

- 平成5年度第二次受験対策総合講座
 日時 平成5年4月17日(土)9:00~17:00
 場所 福岡商工会議所602、604、605
 講習内容 受験合格のための研修方法総合指導、経験問題論文テーマ選定と纏め方(個人別指導)
 必須、専門両科目研修方法(部門・科目別指導)
 前記添削;経験・必須・専門各科目答案添削
- 受講者 申込者87名 出席者79名
 講師 35名

◇ 婦・試験委員会(政野委員長)

平成5年度技術士第二次試験受験申込者数

区分	平成5年度	平成4年度
全国受験申込者	18,187名	17,517名
福岡受験申込者	1,369名	1,302名
福岡建設	913名	874名
福岡建設以外	456名	428名
全国建設	11,511名	11,161名
全国建設以外	6,676名	6,356名

◇ センター・研修委員会 (矢野委員長)

事業委員会と共催で実施

◇ センター・活性化委員会 (斎藤委員長)

- 平成4年度活性化委員会報告
- (1)第1回活性化委員会(平成4年9月26日
 PM1:00~PM5:00 鹿児島市8名出席)
 会員技術士の保有技術研究発表特集の出版計画について審議し本年11月頃までに1次募集する事とし10月5日付文書発信
- (2)第2回活性化委員会(平成4年11月28日
 PM2:00~PM5:00 長崎市7名出席)
 原稿募集は引続き12月以降も受付けて参加会員数を増やす事とする技術士案内パンフレットについて技術士のPRと業務斡旋の内容に変更した。
- (3)第3回活性化委員会(平成5年3月27日
 PM1:00~PM4:00 福岡市6名出席)
 技術抄録については5月より2次募集して内容のレベルアップも考慮して保有特許の紹介も入れ、出版は合同セミナーのある秋頃とする旨審議した。当委員会にて検討していた技術士パンフレットは北海道支部のパンフレットが良い評価である為本部に一括作成を要望する事で決定した。

◇ 婦・事業委員会(笠木委員長)

- (1)機械、金属部会中四国九州支部合同見学会
 期日 平成5年5月21日(金)12:30~19:00
 見学場所 (株)日立製作所笠戸工場下松市
 福岡5-47
 見学目的 新幹線車両の製作、半導体製造装置の製作工場の見学・
 技術講演懇親会
 (11ページ参照)
- (2)九州支部と中四国支部との合同研修会
 期日 平成5年7月16日~17日
 場所 研修会場せとうち苑
 見学会(予定)西部丘陵都市
 (広島市西北部)
 新広島空港
 (広島県中央部) ↗

声の広場 個性ゆり-13-大分県 新聞広告による技術士のPR

川野 宏平 (大分・農業)

会員の皆様には益々ご健勝にて、ご活躍のことと推察いたします。ご自愛下さいませようをお願い申し上げます。

さて、よく「技術士とは何ですか」と聞かれますので、そうか、世の皆様方は技術士の何たるかを知らないのだなと痛感し、大分県技術士会では下記のように、盆と正月の2回、大分合同新聞に広告を掲載することにしています。今年で3年目ですが、これを年中行事の一つにしたいと考えています。「継続は力なり」と云いますので。

税理士とは何ですか。弁護士とは何ですか。公認会計士とは何ですか。と世の方々か質問するだろうか、と考えてみますが…そんな質問はしないですよ。だとすると技術士は自己満足せずに、しっかりとPRしなければならないと考えるのです。

では、この新聞広告の反応はどうであろうかと申しますと、広告掲載後、県庁や市町村にまいりますと「あなたは頑張っているんですね、立派な資格をもって、本当に知らなかった」と声か返って来たり、県会議員のある先生からも「やあ君はやってるねえ、しっかりと頑張ってください」と云うし、市内のスナックに(年に2~3回しか行かないので

すが)行くとママが「新聞見ましたよ、立派な資格をもって活躍しているんですね、健康に気をつけて頑張ってください」と云い、そこで「一杯いかが?」とか…。大分市商工会議所加入の中小企業の社長さんからも、新聞広告を見て先生方のことを知りました。少々教えて下さいと事務局を訪ねて来られた方が2~3おりました。

ついでながら、大分県技術士会にも化学部門と水道部門の技術士が入会して、5部門の会員構成となりましたので、少しずつ発展強化しているところです。

刺激の少ない大分地方で、さきやかながらこのようなPR活動をしていることをお話し上げた次第です。

でも、技術士と申しまして、企業内技術士は会社の枠の中で行動し、技術士事務所をもつ方々は営業に忙しくしており、やりたいと考える技術士活動もなかなか思うようにできないのが実態のようです。「私は技術士ですが、セメント袋を担いでいるんですよ」と、私にポツリと話した男がいるのですが、そうですか、とだけ答えたのです。

何はともあれ、大分県技術士会の発展を願って全員頑張っているところです。以上

社団法人 日本技術士会大分県協会

あなたの事業に技術士の活用を

技術士は、機械、船舶、航空・宇宙、電気・電子、化学、繊維、金属、資源工学、建築、水道、衛生工学、農業、林業、水産、経営工学、情報処理、応用理学及び生物工学の各分野で、国家試験に合格し、登録後に技術アドバイザーとして、あるいはコンサルティング・エンジニアとして、幅広い活躍をしております。国・地方公共団体の機関・企業等が技術コンサルタントの援助を必要とするときは、技術士のいる会社へ依頼すれば信頼できて、安心です。

- 〔建設部門〕
- 原井 束男 (五洋建設九州支店)
- 笹島 昇 (鹿島建設九州支店)
- 兒玉源一郎 (西海産業㈱)
- 羽田野義直 (日通建設設計㈱大分支店)
- 本條 忠應 (水産開発㈱大山ダム建設所)
- 松尾 次郎 (大洋測量設計㈱)
- 室之園泰昭 (九州特殊土木㈱)
- 脇 百太郎 (㈱環ワイトム)
- 〔化学部門〕
- 村谷 俊雄 (㈱大分建設)
- 〔農業部門〕
- 今村 欽一 (㈱日建コンサルタント)
- 石井 良雄 (㈱佐藤組)
- 川野 宏平 (㈱川野建設)
- 佐藤 全良 (㈱ゼム技術士事務所)
- 御手洗 三郎 (㈱アネックス)
- 〔水道部門〕
- 二宮 和生 (二宮技術士事務所)
- 〔応用理学部門〕
- 黒田 屹一 (㈱九州ポリテック工業)
- 古城 輝夫 (明大工業㈱)
- 溝口 四郎 (明大工業㈱)
- 〔協会員・技術士補〕
- 松本 邦男 (松本技術コンサルタント)
- 事務局
- 大分市中津留1丁目2の28 堤ビル
- ☎(0975)58-8122 (川野)

旅行レポート ◇ 大韓火薬技術学会研修団視察報告

水上 信照（副支部長・福岡・建設）
笠木 直行（事業委員長・福岡・建設）

韓国の大韓火薬技術学会の九州建設現場研修視察は第2回目、許填会長から視察箇所、現地案内の依頼が九州支部にあり、支部でお世話をしたので報告します。

視察団の一行は、会長以下9名で、団員は30才～40才台の企業の技術者で、特にトンネル工事関係者である。3月14日(日)～3月19日(金)の約1週間で、見学希望箇所は、地下鉄、トンネルを中心に、下記のように案内することとした。

- 3/14(日) ソウル発、福岡着
スペースワールド
- 3/15(月) 地下鉄空港線(福岡交通局)
都市高速道路(公社)
関屋高架橋(九地建・福岡国道工事事務所)
- 3/16(火) 日韓トンネル(国際ハイウェイ建設事業団)、唐津、西海橋、長崎
- 3/17(水) 日見トンネル(九地建・長崎工事事務所)
有明フェリー、熊本城、人吉
- 3/18(木) 加久藤トンネル(日本道路公団・福岡建設局・人吉事務所)
紫尾山トンネル(鉄建公団、九州新幹線建設局・川内事務所)
- 3/19(金) 鹿児島→福岡発、ソウル着

今回は、視察現場が福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿児島各県にわたるため、水上、笠木、斎藤(清)でお世話した。

3月14日は、水上、笠木が一行を福岡空港に出迎え、スケジュールの打合せ後、一行はスペースワールドに向け出発した。なお今回はエージェントの添乗員付きであった。

3月15日は、3月開通した地下鉄空港線の視察で、運転席に同乗し、軌条トンネル、駅舎の説明を受けた。なお工事関係はパネル等により詳細に説明があり、熱心な質疑が交わされた。

都市高速道路公社では押川理事より公社事業の概要説明があり、2号線現場に急いだ。九地建、関屋高架橋は、九州高速自動車道と

公社高速道路を結ぶもので地元山崎拓・前建設大臣の肝煎りで、急ピッチで建設されており、一日も早い完成が望まれている工事である。

3月16日は、水上、笠木、国際ハイウェイ建設事業団の末次事務局長がJR唐津駅にて同乗、佐賀県鎮西町の斜坑現場に案内、事業団の水野氏より説明を受け、410mの切羽先端まで見学した。斜坑延長工事用の巻上げ機械の据付けはほぼ完了していた。我々は唐津駅で下車、翌朝長崎駅にて再度同乗することとした。

3月17日は、水上、笠木が長崎駅にて同乗、九地建長崎工事事務所にて、中馬副所長より同事務所の所掌業務の概要説明を受け、日見トンネルの現場に向かった。同トンネルは、国道34号日見バイパスで、平成3年9月着工、同6年3月完成予定で、延長1,055m、NATM工法にて施工されている。多比良港より有明フェリーにて向かい、長洲港で斎藤清美(センター活性化委員長)氏が同行し、車中で日本の環境行政、特に水質問題について説明があった。会長の希望により熊本城を観光した。普通韓国の人々は、朝鮮征伐関連のものは、タブーとされているものであるが、許会長は、歴史的事実は事実として知っておきたいという考えで、今後の日韓関係から、韓国の若者に日本の真実の姿を紹介して、韓国は日本を見倣う必要があると、車中で強調されていた。印象的であった。人吉のホテル到着後は、皆で街の大衆浴場に行き、日本の温泉気分を満喫してもらった。また、帰路スナックでのカラオケを交えた日韓交流の楽しい夕べを持つことが出来た。

3月18日は、一路、公団加久藤トンネル、人吉側現場に向かった。同トンネルは、延長6,213m、道路公団で4番目に長いトンネルである。地質は、人吉側は四万十堆積岩類と、えびの側は薩摩火山噴出岩類の2種類で、地下水は火山噴出の安山岩に多いとのことであった。工法はNATM工法で、4車線計画のうち、上り線2車線のみを対面交通として供用するもので、開通は平成7年とのことであった。

<次ページにつづく>

＜ 行事レポート つづき ＞

一行は案内の係官に、ホイールジャンボ、ホイールローダ等の建設機械の施工実績について熱心に質問し、予定時間を大幅に延長せざるを得なかった。

車中で昼食し、一路、第3紫尾山トンネルへ向かった。川内川を下って、川内市に入り再び山中の現場に入ったが、同トンネルは延長10.01 km、九州新幹線鹿児島ルート の最長トンネルで、平成元年から難工事推進事業と

して着工しているが、断面は新幹線上下線、8.260m×7.960mである。NATM工法で施工され、地質は四万十層群の砂岩、頁岩、輝緑凝灰岩で、6本の断層付近に大量湧水が出ている（毎分7トン）。現場視察はカッパ、長靴の重装備の中、一行の熱心な視察に心を打たれた。一行とは川内駅で別れ、我々はJRで帰路についたが、一行は鹿児島に向かった。

以上



行事レポート ◇ 日独産業交流フォーラムに参加して

笠木 直行（CEクラブ・福岡・建設）

長崎日独産業交流協会（NDIS）とドイツMEO地域とのビジネス・コンタクト・フォーラムが、3月29日から3日間長崎市において開催されました。

MEO地域とは、ドイツ西北部ルール地方のミュールハイム市、エッセン市、オーバーハウゼン市の地域のことです。州の経済大臣や3市の市長をはじめ、公社、企業の代表など20名近くの視察団が来日し、企業の紹介、技術研究分野での提携業務の可能性などをさぐるフォーラムが行われました。 <次ページにつづく>



エッセン市長J・イエーガー女史

＜ 行事レポート つづき ＞

29日は、日独双方合わせて約50社が提供できる技術や製品、提携業務の希望などについて企業紹介を行いました。

翌30日は前日の結果にもとづき、双方の希望が一致する企業が個別の面談を行い、具体的な交渉が進められました。

個別面談は6つのテーブルに別れ、それぞれのテーブルにはCEクラブのメンバーが同席し、技術的アドバイスをしながら、双方の理解を深め、面談が円滑に進むよう手助けすることができました。

午後、一行は雲仙普賢岳を見学した後、雲仙に宿をとりました。雲仙では温泉と一緒に入浴し裸のつきあいをしました。その夜の懇親会は、ドイツ側の希望で日本式のお膳を前にしての宴会になりました。興が乗るにつれて、お互いに歌の交歓が始まり、ついには炭



日独企業の個別面談

坑節を皆んなで輪になって踊り、アンコールのくり返して愉快な一夜を過ごしました。

31日は諫早工業団地を訪れ、ソニー工場を見学しました。その夜は長崎でMEO主催のお別れパーティーが行われ、和やかなうちに無事全ての行事が終了しました。以上

行事レポート  ◇ 部会技術研修会

久保田 信一（第2部会幹事・福岡・建設・農業）

平成4年度最後の第2部会行事として、技術研修講演会を全6部会共催の形で次のように実施された。

月 日：平成5年3月6日

場 所：福岡商工会議所

参加者：56名

講師：熊本大学教授・工博 中島重旗先生
九州支部副支部長 水上信照先生

最初に川崎第2部会長の開催挨拶に続く「日米技術コンサルタントの比較」と題した中島先生の講演は、“全くの個人談”との前置きに始まって両国技術コンサルタントの最大の相違点を、米国がプロジェクトの資金管理から運営まで担うのに対し、日本ではその一部である設計の請負業に過ぎないと説かれた。この内容と原因について行政との関わりや比国等他外国と比べた国情の違いから分析された後、更に国別の公共施設の相違点にまで発展した話題はめずらしくて興味深く、持ち時間を越えてしまう熱弁で解り易く説明して下さいました。

次いで「私の人生」と題した水上先生の講演は名付け親の話から技術士試験受験までの“私のプロフィール”というプライベートの披露に始まり、戦後の就職から博多港建設との関わりを先人たちの業績とも絡めて説かれるなかで、工夫と先見性が技術なんだと繰り返して宣言なさった。博多駅のルーツまで取り入れて、“技術者としての歩み”を2パートに分けられた話では、箱崎沖を自分の博多港将来構想とする自論で結ばれた話題が内容多くて興味深く、予定談話を割愛される時間不足が悔やまれるような熱弁でおもしろく説明して下さいました。

最後に第3部会長江崎先生乾杯の辞で明けた宴会で談笑に花が咲き、時間の流れが早いのを恨みつつの散会となった。出席者中には「センターだけの会員だか部会へ（注：技術士会へ）入会するので是非とも参加させて呉れ。」と言う人も現れて参加者数が多く、盛會裡に終わりました。

以上

行事レポート ◇ 会員研修会

重富 秀雄 (総務委員長・福岡・経営工学)

平成5年2月27日、福岡商工会議所において会員研修及び合格者祝賀会が行われた。会員研修は、宇宙センター次長菊山先生と沖縄技術士会長伊志嶺先生のお二人の講演があったので、その概要について報告します。

「台風～自然と風土及び
外洋における流出油の経路の考察」
(講師) 沖縄技術士会 会長
伊志嶺 安進 先生

海洋物理、海洋気象がご専門の先生は、資料とOHPで46億年前の地球誕生と脱ガスに5億年要したなどの話に始まり、台風は台風が終わってから上陸地や被災地、時には洞爺丸台風のように船の名前で呼ばれる。戦後は米軍によって女性名であったが、昭和28年から気象業務が日本に移管されて、正式にはその年の何番目に発生したかを示す番号で呼ばれるようになったとのことである。

台風のエネルギーは 10^{24} erg. (10ト貨車10億台を富士山の高さに持ち上げる力)といわれるが、水蒸気で運動エネルギーが供給されないと1日で消滅する。沖縄の年間雨量、2,000mm/年は台風と梅雨が二分している。

その昔、蒙古襲来を救った神風＝台風も自然と風土がなせるわざで、琉球王国(首里)についても同様に守られてきた。

台風・ハリケーン・サイクロンの違いや、直径200km、17.2m/s未満は熱低と呼ぶこと、中型で強い台風とはどのようなものか、など具体的な数字を上げて説明された。

次いで、外洋上の流出油汚染経路の考察では、多くの海流調査実験データによって、分かり易く説明され、かけがえのない我々の地球を、今後とも大事にしていきたいと話を結ばれた。

「21世紀を目指す宇宙開発」
(講師) 宇宙開発事業団・種子ヶ島宇宙センター 次長 菊山 紀彦 先生

スマートな長身の菊山先生は、技術士会の金属部門、航空宇宙部門の登録をお持ちの企

業内技術士である。スライドを使用しながらアメリカNASAから飛び立たれた毛利さんの訓練状況とか、宇宙空間に於けるトイレの話とか、宇宙食の現状とかを詳しく1時間半に亘って講演をお聞きすることが出来た。

宇宙開発に対するわが国とアメリカの格差については、米の予算2兆円、20万人が従事していることに対して、日本は2,000億円、2万人(宇宙開発事業団1,000人、大学200人、メーカー3,000人など)とひと桁違っていることや、技術開発に対するアメリカ政府の考え方など豊富なご自身のアメリカNASA宇宙局での体験から、分かり易く面白くお話を聞くことが出来た。講演の内容については機会をみてご本人にその概要をまとめていただくことにしたいと思っている。

参加者は、時間の経過も忘れて興味深いお話を熱心に聴いたので、講演後多くの質疑があった。その一部を次に報告する。

宇宙開発に関連する九州地区の機器製作メーカーの有無についてお尋ねしたところ、MHI長崎造船所を除いては、北九州市の(株)黒木鉄工所の電子ビーム溶接によるチタン製品を採用しているのみで、今後の外注対象企業として、九州地区は充分その可能性ありとのことであった。

九州地区には幸いにして、自動車関連企業の手が進出しており、航空宇宙産業と自動車関連産業の相関関係はかなり密接なものがあるとの判断である。特に中小企業の分野で今後、航空宇宙産業に興味を抱く企業も数多くあるものと推定されるので、できれば技術士会がその橋渡しをお手伝い出来れば、地域活性化の一助として貢献出来るのではないかと思われる。

末筆ながら、講師の両先生に紙上をお借りして改めてお礼申し上げると共に、今後のご活躍をお祈りするものである。

講演終了後、原井支部長の挨拶、水上副支部長乾杯の音頭に始まる、合格者祝賀を兼ねた懇親パーティは、合格者の1分間スピーチなどを織り込んで、時の経つのを忘れて大いに盛り上がり、最後に万歳を三唱して定刻に解散した。

以上



小松 栄一（北九州・経営工学）

◎主催：中・四国支部、九州支部、機械部会、金属部会、企業内技術士委員会

◎日時：平成5年5月21日(金)12:40~19:00

◎見学場所：山口県下松市

(株)日立製作所 笠戸工場

◎参加者：中・四国支部センター関係52名、九州支部14名、機械部会8名、金属部会7名。合計81名

当日、定刻にJR徳山駅新幹線口集合の参加者は12時40分、2台のバスに分乗して、日立・笠戸工場へ向かった。

13時過ぎ、中・四国支部稲富先生の司会で開会、(株)日立製作所・出村・笠戸工場長の挨拶に続き、見学に先だって生産技術部の富永部長から「新幹線車両について」と題する技術講演があった。ひかり・こだまの0系、100系、やまびこ・あおば・とき・あさひの200系、のぞみの300系、つばさの400系、最新型の500系などの各種の車両があり、200系からはアルミ軽合金製になっている。

主として、300系ののぞみの話だったが、JR各社の多様化するニーズに合わせて、他社との協調設計などの特異性を聞いた。

技術的には高速化、高密度化、快適化を目指し、その上トータル・コスト・ミニマムを図るという、全所挙げての取り組みの姿勢がひしひしと伝わってくるような話だった。

14時半より約1時間、3班に分かれて半導体製造装置の工場と、新幹線車両関係各工場を見学した。

クリーンルーム内で組立て中の半導体製造装置と、組立て完了後の試験中のものを、それぞれガラス越しであったが見学した。

新幹線車両製造工場は、それぞれのタイプの車両が組立てられていく工程に従って、順に見学した。当然のことながら工場内外に敷かれているレールの多さに驚いた。最終の車両総合試験場では、列車編成の長さでコンピュータを使った、ブレーキや電気系統の機能確認試験が行われていた。

見学後質疑があり、技術士らしい多くの質疑にも関わらず、的確に回答して頂いた。

15時45分から「コンピュータシステムを支援する超精密加工」と題して、機械部会長・理事 倉貝嘉郎先生の技術講演が行われた。

先生は2年前から機械部会長をやっておられるが、他部門ほど部会会員が増えていないということから、経営工学、金属など他部門との交流を深め、他地区(支部)との交流見学会を進めて来られたが、その1つが今回の催しである。ということから話を始められ、機械加工技術者としての歩みなるものを、資料に基づいて語られた。主な項目は次のようである。

○重厚長大製品のなかの精密加工

- ・エレベーター巻上部品加工の最適化
- ・スクリュウコンプレッサー
(S.57年ウオーム研削盤の応用)
- ・VTR用シリンダー AHS材

○超精密加工への道(例)

- ・エア・スライドに替わるメカニカル・スライド
- ・ガラス・ミラーに替わる金属ミラー

○人工知能への道

この中特に、金属ミラーの鏡面加工に超精密加工技術を適用、高品質の鏡面の実現によって、パイロット訓練用フライトシミュレーターの画期的な開発の話は興味深かった。

質疑の後、中・四国支部秦先生の閉会挨拶で、盛会のうちに見学・講演会を終えた。

引き続き16時半過ぎから懇親会に移った。九州支部を代表して江崎先生が挨拶された。それぞれ名刺交換、歓談を重ね楽しい1時間半余りを過ごさせて頂き、有意義な1日を終えて、また、バスに分乗し、徳山経由で帰途についた。

当初予定を超える多数の参加に対して、終始お世話頂いた(株)日立製作所の関係者、機械部会、中・四国支部、金属部会、企業内技術士委員会の方々に深く感謝申し上げて、報告を終わります。

以上



随想



轟先生を偲んで

泉 良典 (宮崎・衛生工学)

1. はじめに

昨年5月15日宮崎市で県技術士会に出席の折、井川さんに、昭和初期北朝鮮の鴨緑江上流を堰止め画期的な土木工事で電源開発をやった貴重なフィルムが、延岡の旭化成にあるので話をした。12月17日夜延岡市のホテル五ヶ瀬で有志11名でビデオを見た。戦前働いていた咸興の朝鮮鉄道局交通局長轟健次郎氏(日吉史郎著「襄陽(しょうよう)」)の話をしたら、「技術士たより」にと原稿を引き受けることになりました。

2. 轟先生との出会い

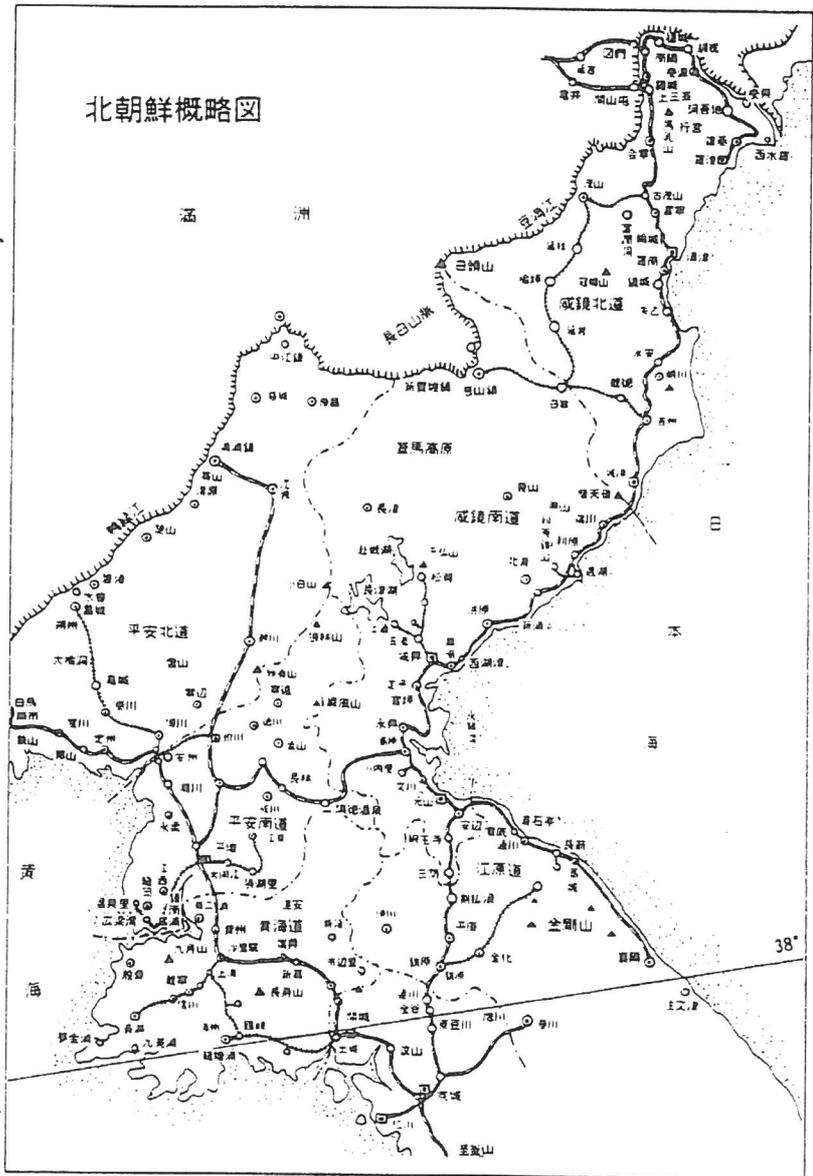
私は大正6年福岡県行橋生まれ、昭和15年金沢高工応化卒、北朝鮮興南火薬入社、戦後延岡旭化成で昭和47年定年、この年泉技術士事務所登録。たびたび博多へ出掛け轟先生にはご指導していただき深く感謝しております。

先生は宮崎の技術士会にも顔を出され、皆さん亡くなられましたが、志多組の伊藤・朝日さん達とも大変親交を結ばれ羨ましく思っておりましたが、中・四国支部との会には夜一緒に風呂に入り、先生から数多くの技術士の方を紹介していただきました。

3. 一冊の本

人は誰でも過去のいやなことは忘れたいものです。私は終戦時は興南では独身でしたが、結婚し子供を抱えた友人達は食料の配給もなく、それにソ連軍の略奪・暴行、やがて発疹チフスの蔓延となり、昭和20年11月になると、北朝鮮の冬は一段と寒さも厳しく、山野に覆起きしなければならぬ脱出行は

- ① 京元線を利用して出来るだけ南の地点、たとえば鉄原福溪、全谷、大光里、瀧川、等に下車して、そこから山間の道を歩いて抱川、東豆川、高浪浦、にでる。
- ② 元山から徒歩で京元線の西北の山間を通り、伊川街道に出て高浪浦、開城のいずれかに出る。
- ③ 安辺の付近から歩いて春川に出る。重畳たる山岳地帯を80キロの行程がある。
- ④ 東海北部線を襄陽まで鉄道で南下し、28キロ歩いて注文津に出る。〈次ページにつづく〉



<随想 つづき>

以上のように鉄道を利用する必要上、朝鮮側機関の現役と緊密な関係にあるものとして、前咸興交通局長 轟健次郎氏が担当された。

朝鮮人側保安検察機関との連絡には長屋氏があたり、ソ連軍には窮状を誇張して宣伝し、南下を黙認してもらい、日本人の帰国がままならぬ時、轟先生など多くの人々が各分野において勇敢に誠実に活躍し、同胞の救援にあたった。

この本は北朝鮮の終戦時の動乱をテーマにした小説ですが、あとがきに著者は多くの人の実名で書かれていることをお断りになっており、轟先生が生きておられたら、極限状態下の苦心談が聞けたのにと悔やまれます。

以上



随想



西海観潮記

高村 清（長崎・建設）

四月桜の季節には、西海橋伊の浦の瀬戸の渦潮も見頃となる。

西海橋は国道202号佐世保長崎線、伊の浦の瀬戸をまたぎ、主径間長214m、昭和30年完成時、ブレースドリブ固定アーチとしては世界第3位にランクされたものである。

瀬戸の潮流は、大潮時流速9ノットに達し、発生する渦には2種類が観測された。一つは、西海橋東側橋台から流れかき離して生じる比較的大型の主渦が、長径30m短径20m深さ1mに成長する。今一つは、瀬戸の蛇行によって生じる高流速帯と低流速帯の不連続面に沿って生じる小型の副流渦で、径数m 深さ0.5m程度の円渦である。

観光客のお目当ては勿論ごろごろと音をたてる前者の大型渦で、瀬戸を航行する小型船はこの渦に巻かれないように注意を払っている。設計者の意図があったかどうか定かではないが、この観光渦の演出に西海橋の橋台が大いに貢献しているように思われる。

筆者は、橋の完成後40年経った今、橋のたもとで渦を眺め乍ら、地形の若干の修正により伊の浦の瀬戸を出入りする潮量を増せば、大村湾の水質改善に大きく役立つのではと考えている。勿論その時は、観光渦は姿を失うであろう。自然の保護と環境の改善。時代の移り変わりや視点の複雑さを感じる次第である。

以上



会員ニュース



★(社)日本技術士会並びに九州地方技術士センター 名誉会員、長崎地区代表幹事・建設部門 田中武熊先生が平成5年5月10日逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

☆(社)日本技術士会(九州支部)入会 -以下敬称略-

(地区)	(区分)	(氏名)	(技術部門)	(連絡先)
大分	正員	日野 健次	建設・水道	〒870-11 大分市光吉台3 2組2 8 8
佐賀	幹員	洲上 幸康	建設	〒849-05 佐賀県杵島郡江北町大字八町1 3 3 8

☆(社)日本技術士会(九州支部)退会

(地区)	(区分)	(氏名)	(技術部門)	(地区)	(区分)	(氏名)	(技術部門)
長崎	正員	田中 武熊	建設	北九州	〃	藤原 忠生	水道

☆九州地方技術士センター入会

(地区)	(区)	(氏名)	(技術部門)	(連絡先)
福岡	区	川田 博美	水道	〒532 大阪市淀川区西宮原2-7-8-206
"	"	林 正治	"	〒819 福岡市西区金武2102-1
大分	"	日野 健次	建設・水道	〒870-11 大分市光吉台32組288
宮崎	"	岩切 重人	衛生工学	〒880-21 宮崎市大塚台西3-40-10
北九州	"	和田 洋二	金属	〒808 北九州市若松区高須東1-9-11
福岡	"	田中 征夫	建設	〒811-02 福岡市東区美和台3-14-9
北九州	"	後藤 博文	機械	〒803 北九州市若松区高須東2-7-20
"	"	桑島 公生	建設	〒820 福岡県飯塚市大字鯉田2439-12
福岡	"	谷下 公一	"	〒838-01 福岡県小郡市小郡418-1B501
"	"	船本 憲治	"	〒814 福岡市早良区花江3-1-1 福陵アパート6351
"	"	武部 茂	水道	〒818 福岡県筑紫野市光が丘5-9-4
長崎	"	平野 巖	建設	〒850 長崎市高丘2-5-4
北九州	"	平原 淳次	"	〒800 北九州市門司区奥田3-1-13-102 運輸省宿舍
"	"	小長 龍吉	経営工学	〒811-41 福岡県宗像市自由ヶ丘3-2-14
鹿児島	"	福島 正三	建設	〒892 鹿児島市上竜尾町34-13
"	"	太田 頼敏	農業	〒890 鹿児島市下伊敷町1972-72
"	区	道添 兼弘	建設	〒892 鹿児島市西坂元町55-7
熊本	"	水上 文藝	"	〒860 熊本市清水亀井町50-32

☆九州地方技術士センター退会

(地区)	(区)	(氏名)	(技術部門)	(地区)	(区)	(氏名)	(技術部門)
鹿児島	区	松山 義高	建設	北九州	区	児玉 久	応用理学
福岡	"	浦 憲治	"	福岡	"	関屋 弘治	建設
"	"	本田 政彦	機械	長崎	"	田中 武熊	建設
熊本	"	福地 伸一	建設	北九州	"	藤原 忠生	水道
北九州	区	大村 力	電気・電子	-以上 受付順-			

☆会員勤務先(住所)および連絡先変更

1. 太田 能史 (経営工学)
連絡先 〒814-01 福岡市城南区神公寺
1-6-28 大祥寺コーポ102号
2. 頼政 尚 (農業)
勤務先 〒810 福岡市南区大楠1-33-14
(株)大楠調査設計事務所
TEL (092)522-7321
3. 中野 徳 (建設)
勤務先 〒810 福岡市中央区高砂2-6-3
(財)福岡十地区画整理協会
TEL (092)521-7636

4. 北村 邦彦 (衛生工学)
勤務先 〒810 福岡市中央区白金1-17-8
(株)福岡エネルギーサービス
TEL (092)526-0631

<次ページにつづく>

★投稿を募る★
技術研究論文・技術士の主張・賛助会員会社の紹介など、技術的なことは勿論会員の受賞などのニュースもお願いします。積極的な皆さんの投稿をお待ちしております。(200字詰め原稿用紙2~3枚程度を目安に願います。支部事務局宛)

☆会員勤務先および連絡先変更 (つづき)

5. 竹中 幸生 (建設)
連絡先 〒830-11 福岡県三井郡北野町
上弓削113-6
6. 寺澤 一憲 (建設)
連絡先 〒852 長崎市辻町533
7. 長崎 孝博 (衛生工学)
連絡先 〒814-01 福岡市南区長尾533
8. 平野 儀太郎 (水道)
勤務先 〒880 宮崎市大工3-108
南興測量設計(株) TEL (092)885-5005
9. 勝木 茂雄 (農業)
社名変更 (株)精工コンサルタント
TEL (0955)64-2237
10. 福田 寛治 (建設)
連絡先 〒640 和歌山市善明寺255-19
TEL (0734)56-0770
11. 香月 正直 (建設)
連絡先 〒880 宮崎市大字田吉字中ノ又
5871-4 TEL (0985)52-3122
12. 堤 利文 (建設)
勤務先 〒880 宮崎市旭2-2-32
東洋建設(株)宮崎営業所
TEL (0985)24-2962
連絡先 〒880 宮崎市月見ヶ丘6-7-4
TEL (0985)50-8062
13. 出田 午郎 (農業)
連絡先 〒862 熊本市武蔵ヶ丘5-24-3
14. 丸田 賢二 (機械)
連絡先 〒811-42 福岡県遠賀郡岡垣町
大字内浦644-3
15. 五島 一成 (農業)
連絡先 〒816 大野城市下大利4-6-16

-受付順、敬称略- <会員ニュースおわり>

◇会誌”技術士”最近号の主要目次

☆4月号

- 提言 技術士会の活動活性化の促進
／権平 慶孝
- 私の技術士業務
企業内技術士から独立技術士へ
／榎本 幸雄
- 研修のページ
AIの産業応用
／伊藤由紀美

☆5月号

- 提言 技術士法の基本的見直し
／三田村 宏
- 私の技術士業務
メンテナンスと技術士の役割
／藤縄 勝久
- 研修のページ
ISO 9000品質監査制度について
／安藤黎二郎

☆6月号

- 第20回技術士全国大会(静岡)のごあんない
- 提言 明日に向けての日本技術士会
／内田 辰英
- 私の技術士業務
稲作農業の省力化基盤整備十画
／玉井 丈生
- 研修のページ
地盤図と地盤データベース
／ニッ川健二

 **編集後記** 

- 国際協力の1つ、UNTACの下でのカンボジア総選挙も犠牲を出し乍ら終わった。
- プロ野球に続き、Jリーグも始まる。大相撲も相変わらずの人気。しかし、何といっても夏は”甲子園が一番”ですか。
- 長めという梅雨が明けると、夏本番!(小)

発行：(株)日本技術士会・九州支部
九州地方技術士センター
〒810 福岡市中央区大名1丁目
12-61 新天ビル402
☎(092)771-9534
編集：九州支部・総務委員会